

UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内
電話 0774-22-3141 (内線2057) FAX 20-8776

第 29 号

平成13年(2001年) 9 月

咸陽市公式訪問団来訪

祝！友好都市盟約締結15周年

前号でもお知らせしたとおり、咸陽市と宇治市が友好都市盟約を締結して今年で十五周年を迎えます。これを記念して、友好都市盟約締結十五周年記念咸陽市公式訪問団が、平成十三年七月二十三日から二十九日に来訪されました。

波氏(淳化県人民代表大会常務委員会主任)、通訳・王煥氏(咸陽市人民政府外事公室外事科長)の五名でした。訪問団一行は、七月二十三日に宇治市に到着しました。

七月二十四日

今回の訪問団員は、団長・裴育民氏(咸陽市人民政府顧問)、副団長・福水英氏(咸陽市人民対外友好協会副会長)、秘書長・魏振玉氏(咸陽市政治協商會議主任)、団員・董俊

宇治市役所を表敬訪問した後、宇治市植物公園で記念植樹を行い、両市の絆を一層深めるとともに、今後の永遠の交流を誓い合いました。その日の晩に行われた宇治市主催

七月二十五日

京阪六地蔵駅から電車で大阪へ。大阪城を視察したり日本橋でショッピングを楽しみました。

七月二十六日

ナカガワ胡粉株式会社を視察した後、宇治市内の商業施設を見学しました。夕方には

七月二十七日

宇治川鵜飼いを見学し、鵜匠が上手に鵜を操って魚を捕る姿に見入っていました。

七月二十八日

源氏物語ミュージアムを見学した後、宇治商工会議所を表敬訪問しました。その後、世界遺産の平等院を見学し、市営茶室対鳳庵ではお茶を体験しました。

七月二十九日

次の訪問先である成田市に向けて出発されました。

帰国後、団長の裴育民氏から宇治市長宛にお礼が届きました。

盛夏の頃、私共咸陽市友好代表団一行5名は、宇治市と成田市を11日間訪問致しまして、8月2日に成田を発ち、無事帰国致しました。

訪問期間中、炎暑ではありましたが、市長をはじめ宇治市民の皆様は私共に対する熱意は、はるかに酷暑に勝るものでした。

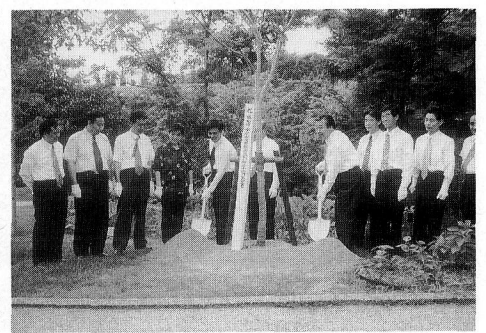
多方面にわたるお心遣いは、私共の訪問を見事に成功させ、所期の目的を達成することができました。宇治市民の心のこもったおもてなし、並びに宇治市の美しい自然環境や生活環境は、全て私共に深い印象を与えてくれました。心より感謝申し上げます。

私共は、両市の友好関係締結15周年を契機として、新しい21世紀においても友好発展のために引き続き努力いたします所存であります。

最後に再度市長に心からの感謝を申し上げ、宇治市の不断の繁栄と市民の皆様のご健康とご多幸を心からお祈いたします。

2001年8月6日

咸陽市友好代表団団長 裴育民
咸陽市人民政府 顧問 裴育民



ストップザ 砂漠化

宇治友好の森 建設にご協力を！

黄土高原植林緑化推進協議会

事務長 廣 瀬 浩 二

春先になると自動車のフロントガラスをくもらせ、洗濯物を汚す黄砂が、どこで生まれて日本に運ばれてくるかご存じですか。

宇治市の友好都市・咸陽市の北部一帯に広がる黄土高原が、誕生の地なのです。

有史以前、この地は豊かな森林地帯だったようですが、秦王朝以来続いた乱伐と戦乱のお陰で、すっかり緑が失われてしまいました。

しかも地球温暖化の影響で雪が少なくなると、黄砂の発生する時期が早くなり、量も

増えてきています。

この黄砂が偏西風に乗って、二五〇〇キロ隔てた日本にやってくるのです。黄砂の影響については研究はまだ進んでいませんが、呼吸器疾患を起こす一因になっているとも言われています。

この黄砂をなくすためには発生源の黄土高原に植林し、緑を増やす以外に方法はないようです。

中国では黄土高原だけでなく、乱伐された山々に植林をしようということで、西部大開発の重要な政策にもなっ

ていますが、私たちの運動はささやかですが、そのお手伝いをしようというものです。

そのために「黄土高原植林緑化事業推進協議会」を六月に結成し、今NPO法人の認証を受けるための準備を進めています。

市民の浄財（一口：千円）を集めて、咸陽市の農民とともに、今年は永寿县で六〇ヘクタールの植林を始めます。単年度事業ではなく、息の長い運動として続けていきたいと考えていますので、皆様のご協力をお願いします。

詳しいことをお知らせになりたい方は、廣瀬（電話・FAX：三三・二二二八）までご連絡ください。

仏・カン大学合唱団来訪

音楽を通じて文化交流を深めようと、フランス・ノルマンディ地方のカン市からカン大学合唱団が宇治市を訪れました。

滞在期間は七月二十二日（日）～二十五日（水）で、団員は十八歳から五十二歳までの合計四十四名でした。二

十三日には、宇治市役所を表敬訪問し、そこで美しい歌声を披露してくださいました。また、毎月宇治市役所一階市民交流ロビーで行っている「ロビーコンサート」に出演し、賛美歌やフランス音楽などの他に、さくらさくらなど日本の歌も歌いました。

二十四日には、宇治市文化センターで混声合唱団めしどきや宇治市少年少女合唱団とともに交流コンサートを行い、合唱による交流を深めました。



新校章決定

淳化寨子宇治友誼小学校



UIFAニュース第二十七号で募集しました「淳化寨子宇治友誼小学校」の校章デザインが決定しました。

中央に「本」と宇治市・咸陽市を結ぶ「橋」を、横方向に「世界への広がり」を、下端の「ペン先」で「学び」をそれぞれ表現しています。背景の円は「地球」と「平和」を表し、宇治市章とも共通することです。

「咸陽の子どもたちに本を贈る会」が毎年行っているカンパの剰余金によって咸陽市の農村に小学校が建設されたことは大変すばらしいことです。これからもこのような市民の手による交流がどんどん広まっていけば、と思います。

「会」では、引き続き皆様のカンパを募っています。

中国内陸部の農村地帯や山岳地帯では、貧困のため学校に行くことができない子どもが数多くいます。こういった子どもたちに本を贈ることによって彼らの教育に少しでも役立ちたい、というところから始まったこの運動も今年で六年目になります。

皆様の温かいご協力をお願いします。詳しくは、「咸陽の子どもたちに本を贈る会事務局」（〇七七四・二二・二五二三）までお問い合わせください。



青年海外協力隊取材

マレーシア派遣

田中葉子さん

宇治市在住の田中さんは青年海外協力隊員として一九九九年四月から二〇〇一年四月までマレーシア国農業産業開発ユニットに配属されました。

このユニットでは農村部の女性たちの社会への参加及び安定した副収入を得ることを目的として、農村女性グループのメンバーを対象に様々な講習会を開催しています。田中さんはその中の食品部門の講師として、マレーシアのペラ州、トレンガヌ州、ケダ州そしてセランゴール州の四つの州を半年ごとに巡回しました。

* * * * *

―応募したきっかけは？

〇もともとのお菓子を作ることが大好きで大学を卒業した後、お菓子やパンを作る仕事をし



ながら製菓専門学校に通っていました。き

かけは日本語教師の分野で協力隊に参加していた友人の活躍をみて感動したからです。―具体的にどういった所で何を作ったのですか？

〇各州にある農業局の研修所に滞在し、そこで農村女性グループのメンバー達対象と、彼女らの指導者にあたる女性公務員達対象に余剰農産物などを利用したお菓子やパンなどの講習会を開いてました。

農村女性グループの方々は学んだ事が即自分たちの収入につながるので大変意欲がありましたし教える側からしてもこちらの方が楽しかったです。講習の中では販売しやすいように、比較的日持ちするものを作りました。例えばビスケットやパイなどの焼き菓子、シフォンケーキ（これが大人気でした）、パン、ジャムなどの他にあられやかりんとうなども作りました。設備はオーブンやコンロを並べた家庭

料室のような感じで機材不足や、ネズミやアリなどの被害にはかなり悩まされました。活動の一環として衛生面での指導も行っていたのですが、

実際に女性グループが活動している現場を巡回したりシニアボランティアの方と協力して、自分達でデザインした衛生啓蒙ポスターを作成し、マレーシアにある一三〇〇個所の女性グループに配布したりしました。

―もちろんすべてマレーシアの言葉で？

〇マレーシアは公用語がマレー語と英語なのですが、農村部の人々はほとんど英語を話す



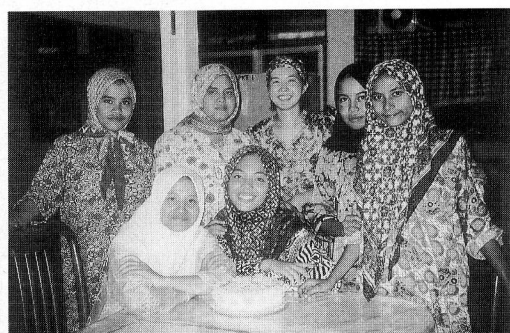
ことができないため、すべてマレー語で会話をしました。マレー語は思ったより簡単だったんですよ（笑）。

―一番楽しかったことは？

〇数えだしたらきりがありませんが、講習会を開いた後、現地のおばさんたちが本当に喜んでくれたことです。中には涙を流して喜んでくれたおばさんもいました。遠い国から若い女性がいろいろ教えてくれることが感激だったみたいです。また逆に向こうの料理やお菓子を教えてもらった。またマレーシアの人とはとても家族を大切にします。私を本当の娘のように迎えてくれたことも大変うれしかったですね。「助け合いの精神」がイスラム教の教えにあるのですが、私は助けられたり教えられたりすることばかりだったように思います。

―一番つらかったことは？

〇先ほどイスラム教について少し触れましたが、マレーシアはイスラム教のマレー系が六十%、その他仏教やキリスト教のチャイニーズ、ヒンズー教のインド系、少数民族な



どで構成された多民族国家です。私が講習会などで接したのはすべてマレー系の人々で、みんな敬虔なイスラム教徒でした。そこで、生活習慣や価値観の違いでどうしてもなじめない部分があって、それが少しつらかったです。

* * * * *

この貴重な経験を生かして、今後も国際協力・交流に関わっていきたいと語る田中さんは本当に生き生きとしておられました。宇治市でも草の根の国際交流が広がりとつありますが、田中さんもこれからの国際交流のためにどんどん活躍して欲しいと思います。

今後の事業予定

お問い合わせは当協会事務局へ

語学講座

今年度は英語とスペイン語の二コースをそれぞれ計十二回開催します。英語講座は前半の六回が入門編、後半が初級・中級レベルです。スペイン語はすべて初級レベルです。なお、これから語学を始めてみようという人を対象にしていますので、皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

ボランティア養成講座

当協会が目指す市民の草の根交流の核となる人を養成し、国際交流ボランティア活動を推進するため、ホームステイ講座を開催します。多数のご参加をお待ちしています。

開催期間：平成十三年十月十七日～平成十四年一月十六日
毎週水曜日（年末年始除く）
合計十二回

開催場所：宇治市生涯学習センター

※詳しい募集内容については市政だより十月一日号をご覧ください。

宇治市内留学生市内探訪ツアー

宇治市内に住んでいる外国人留学生を対象に、宇治市内の観光やスタンプラリー、大田楽、そしてホームステイを通して交流を深めます。留学生を受け入れてくださるホストファミリーを募集します。

開催日：平成十三年十一月三日（土）、四日（日）

「宇治国際交流クラブ」事業予定

◎世界の料理教室◎

各国の先生をお招きして一緒に料理を作ります。皆さんも世界の料理を味わいませんか？

日時：平成13年9月30日（日）

10:00～13:00

会場：生涯学習センター 調理室

内容：ドイツ料理「ピーマンの肉詰め」

ザビーネさん

フィリピン料理「ココナッツ入り野菜炒め」

アナベルさん

日本料理「松茸ご飯、はものお吸い物」

蛸川さん

参加費：材料費 500円

申込先：宇治国際交流クラブ

（伊藤亜佐代さん TEL&FAX 22-2149）

◎第6回お喋りサロン◎

日時：平成13年10月24日（水）

19:00～21:00

場所：宇治公民館

お問合わせ：宇治国際交流クラブ

（伊勢村紀久子さん TEL 43-1715）



参加費：無料

※詳しくは市政だより十一月一日号をご覧ください。

映画上映会

今年度の啓発・研修事業として映画上映会を開催します。上映映画：「神の子たち」忘れられた子供たち Part 2
内容：舞台はフィリピンのパタヤス地区。ここにある巨大なゴミ捨て場でゴミを集めて暮らしを立てているスカベンジャーと呼ばれる人々の生活死と隣り合わせにいる子供たちが描かれています。

開催日：平成十三年十二月八日（土）

開催場所：生涯学習センター 第一ホール

入場料：五百円

※詳しくは、市政だより十一月一日号をご覧ください。

会費納入のお願い

平成十三年度の会費の納入をお願いします。当協会の運営は皆様の会費によって成り立っています。会の運営や活動を活発にするためにも、どうぞよろしく願います。

会費

個人会員 二千元

団体会員 五千元

法人会員 一万元

振込先

京都銀行

宇治支店・普通預金

678459

京都中央信用金庫

宇治支店・普通預金

3221035

*いずれも受取人は「宇治市国際親善協会」です。

雑観雑感

▼異文化に生きる人々の生活を知り、体験できる国際交流は、刺激的でとても楽しい活動である。人は生きていくうちに

世界中を訪ねたりすべての人々に出会ったりできるわけではない。日本にいながらそれを可能にするのは、国際理解・交流活動である。しかし最近国際交流って一体何だろうと思うことがしばしばある。▼この夏CFFCによるフィリピンへのスタディツアーに参加した。巨大なゴミ捨て場でゴミを拾って生計を立てているスカベンジャーの人々と交流し彼らの現状を知ることが目的のツアーだった。トイレもシャワーもきれいな水さえない生活、すべてに満たされた私達にとってはあまりにもショックな光景だった。▼この地球上には助けを必要とする人々が大勢いる。彼らを見つけたら自分に今出来る事は何かと自問して、小さな事でもいいからそれを実行することが国際交流の目的の一つではないだろうか。（伊勢村）